

岐阜市立加納小学校で防災講座を行いました

令和8年9月24日（木）、岐阜市立加納小学校で4年生50名に防災講座を行いました。学校は長良川と木曽川に挟まれた位置にあり、近くを新荒田川が流れています。

講座では、岐阜市でも被害のあった伊勢湾台風、今年で発生から50年の節目を迎えた9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害や令和8年8月千葉豪雨、令和8年9月名古屋市の大雨、台風25号など最近の水害を学習しました。浸水疑似体験映像、土石流などの映像や堤防決壊のメカニズム、高潮などの実験を通じて、水害の怖さや避難について理解を深めました。

また、避難用品・避難行動などを学ぶ水防災A1カードクイズや伊勢湾台風A1語り部との対話体験をグループ別に行い、A1語り部には「何日避難所にいましたか?」「スマホとかがないから、何で情報を集めましたか?」「お金の保証は?」などの質問をしていました。

講座の最後には、「浸水の心配はないと思わず、普段から意識したい。」「家族で避難所を決めておきたい。」「水害の時を考えて、防災グッズを用意したい。」など児童の感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子はNHK、東海テレビ、ケーブルテレビCCNに取材頂きました。

